

平成25年度 南陽市農業施策等に関する要望

我が国の農業は所得の減少、担い手不足の深刻化や高齢化といった厳しい状況に直面しています。原子力災害による風評被害はいまなお継続しており、さらには消費税増税による価格への転嫁問題への対応、農業のみならずあらゆる分野に大きな影響を与えるTPP交渉への参加問題など、多くの課題を抱えています。

農業委員会は、農地行政を担当し、担い手の育成に主眼をおきながら優良農地の流動化を図り食料の安定供給に努め、農業者の利益代表機関として、農家の生活向上と農村地域振興のための農政活動推進に取り組んできております。とりわけ、食料自給率向上に向けた意欲ある担い手の確保・育成と優良農地の確保・有効利用は政策的課題であり、経営安定対策の早期実現と未利用農地などの地域資源を有効利用するなど、遊休農地対策が求められております。農業は地域の基幹産業として大変重要な位置を占めると共に、農村社会の維持・発展や農村文化の維持・保全等に大切な役割を担っており、その振興が不可欠であります。

更に本市の農業は複合経営が主体であり、農外収入を主とする第二種兼業農家が多い状況です。高齢化や後継者不足等が進む中で、担い手の育成、地産地消、有機農業の推進など、今後とも持続可能な農業経営のため、国・県等の事業など各種事業を有効活用し、長期展望に立った継続性のある支援策を必要としています。

このような状況等から、南陽市の主産業である農業の平成25年度の施策については、効率的かつ安定的な農業経営の実現を軸に、農業委員会等に関する法律第6条第3項の規定により、以下のように要望いたします。

1. 農と食の教育と地産地消の推進について

- (1) 農業は生きる力の根源であり、いのちの教育をはじめ自然や社会を見つめる目を育てるなど、子ども達の成長にとっても大切なものであります。地域の伝統的な食文化を、家庭や学校で伝えていく食育を継続推進すること。
- (2) 南陽市地産地消推進協議会事業等を通じ各学校事業と連携して、地場農産物使用を継続し、その他の野菜や果物等も使用を推進し増加させること。

2. 担い手の育成と労働力確保について

- (1) 農業者の高齢化や後継者不足を解決するため、「人・農地プラン」の作成が各地区で進められていますが、将来地域の中心となる担い手である若者の結婚支援などを、重点的に取り組めるよう配慮すること。
- (2) 農作業面では受託等を行う集団営農組織等の育成を進めるなど、認定農業者の確保を図ること。
- (3) 就農を目指す新規就農希望者を、地域農業で受入れ育成できる体制を確立するとともに、農作業登録制度あつせん事業等、多様な労働力確保のために必要な施策・支援を考えること。

3. 有機農業の推進について

- (1) 農地は食料の生産基地であり、効率的に有機性資源を活用することにより継続した食料循環生産を可能にしています。環境保全型農業直接支援対策事業等における堆肥を利用した土づくりなど循環型農業を、県の事業と連携し継続充実すること。
- (2) 有機農業推進のための新たな施策として「食の安心、安全」をテーマとした南陽市独自のブランド化推進戦略を構築すること。

4. 鳥獣被害対策について

作物や条件により個人では対応できない深刻な鳥獣被害については実態等を調査し組織で対応できるようにするなど、支援体制の充実を図ること。

5. 耕作放棄地対策等について

- (1) 耕作放棄地対策は未然防止が大切であり、水田については米を作ること自体が環境の保全にも大きく貢献しています。転作への取り組みには万全を期し、ホールクroppなど新規需要米の栽培が促進されるよう、収穫機械導入の支援策を講じること。
- (2) 十分一山ぶどう園等傾斜地果樹園は荒廃が進んでいる状況にあり、市において対策に取り組んでいただいておりますが、歴史的に栽培に適しているのは「ぶどう」であり、再生可能な園地については省力化栽培で取り組みやすい醸造用ぶどう栽培が推進できるよう支援体制を充実すること。

6. 農業と観光について

- (1) 創意工夫による農業体験などグリーンツーリズムの商品化と、南陽市内に道の駅設置の可能性を検討することなど、受け入れ態勢の整備充実施策を推進すること。
- (2) 温泉旅館での地元農産品の活用、市内外での観光朝市などイベントや時節に併せた産直販売活動の支援をすること。
- (3) 国においては6次産業化を推進していますが、南陽市においても農業と観光の連携による南陽特産物開発ができるよう支援をすること。

7. 農地制度及び農業委員会制度の堅持について

独立の行政委員会として交付金制度の基本を堅持するとともに、農業委員会の活動を助長する国における事業予算の確保を図り、地域の農地と担い手を守る活動を展開する農業委員会に必要な予算を適正に措置すること。

平成24年11月29日

南陽市長 塩田 秀雄 殿

南陽市農業委員会 会長 長澤 武右衛門